

愛知万博にBIE警告

写真は中日新聞 2000 年 1 月 14 日朝刊 1 面。この新聞を大切に保存していたが、引越「騒動」により紛失してしまった。それで中日新聞縮刷版により記事をコピーした。

縮刷版 1 月号には、14 日以降、毎日のように万博関連の記事が掲載されている。この機会に記事に目を通した。縮刷版の文字はとても小さく、拡大コピーして読み進んだ。ここでは 3 面「BIE・通産省やりとり抄録」を紹介する。

リードから一愛知県瀬戸市の海上（かいしよ）の森などで計画されている 2005 年日本国際博覧会（愛知万博）に、博覧会国際事務局（BIE）は極めて強い懸念と疑問を投げかけた。フィリップソン・BIE 議長（当時）らが昨年 11 月、通産省幹部と交わした面談。立ち会った博覧会協会職員が記録した文書には、会場計画から跡地利用、環境団体への対応を含め、万博全体の見直しを迫る厳しい言葉が並んでいた。

文書の抄録から、フィリップソン議長とロセルタレス・BIE 事務局長の言葉のいくつかを紹介したい。

フ議長 「率直に言わせてもらおう。愛知万博の後には、山を切り崩して土地開発し、団地を建てるのではないか。イエスかノーで答えてほしい。」

「この完成予想図を見ると、大規模な 20 世紀型の土地開発だ。山を切り崩して木を切り倒し、4、5 階建ての団地を建てる。開発至上主義の産物にほかならない。それは、あなた方のいう万博テーマの理念の、対極にあるのではないか。」

ロ事務局長 「万博と新住計画がリンクされており、その新住計画のために BIE が、万博が攻撃されている。」

『愛知万博は自然破壊につながる大規模開発の隠れみのだ』というのが、WWF(世界自然保護基金)をはじめとする世界的な環境団体の主張だ。あなた方は地雷の上に乗っていることをよく自覚すべきだ。たとえ登録できても、2、3 年後には爆発するぞ。ハノーバー博をはじめとする万博すべてに悪影響を与える。BIE の哲学、モラルに反し、見過ごせない。BIE は環境団体が味方に付くような計画を期待している。」

「中でも、跡地利用計画は、とても重要で多くの国の興味のあること。もし、あなた方が今の万博計画で申請してきたら『もう一度、ゆっくり検討して、書き直してくれ。BIE は待っているから』と言うことになる。私たちもそれを望まないの、準備が整ってから登録をなさい。」



(2019 年 3 月 20 日)